

## 1 自己評価結果

(1) 根拠となる資料として 教員・保護者・児童の意識調査等、高学年の学力調査結果、体力調査結果（春・秋の一部比較）、保護者からの自由意見、評議員等の授業参観の意見から年間の教育活動を自己評価する。なお、データは、3～4年間の比較を行う。

(2) 概要（資料説明及び協議会の視点として）

低下傾向にある項目もあるが概ね昨年度と大きな差は見られない。個人差、学年差に対応することが必要である。

成果と今後の課題・改善点の視点としては

- 「わからない」と回答する保護者が年々減少傾向にあったが、一部増えている項目もある。特に、縦割り班活動、情報発信では、高い評価を得ている。
- 挨拶や協力など、人との関わり方についての指導を更に充実・継続させていく。新たな挨拶運動、教師による朝の出迎えは今後も継続していく。
- 学力調査の「平均」は概ね良好だが、度数分布表からも個人差や基礎基本を更に定着させるための指導に取り組む必要がある。
- 体力調査では、種目・学年によって出来映えに偏りが見られる。これまで、環境整備・授業改善等の取り組みから一定の改善が見られたが、本年度はやや低下している。
- 児童対象質問「悩みや困っていることを先生などに相談していますか」のポイントが本年度は上昇した。いじめ問題への取組、相談体制は、理解が高まってきている。
- 縦割り活動への評価は高い。また活動も定着した。更に有意義な活動にするために中学年がリーダーとなる新たな取組も必要になってくる。

## 2 教育目標の具現化を児童の実態から考える（※教職員の評価結果）

(1) 【学校評価Ⅰ】（教育目標の具現化を児童の実態から考える） **赤字が本年度 4点満点**

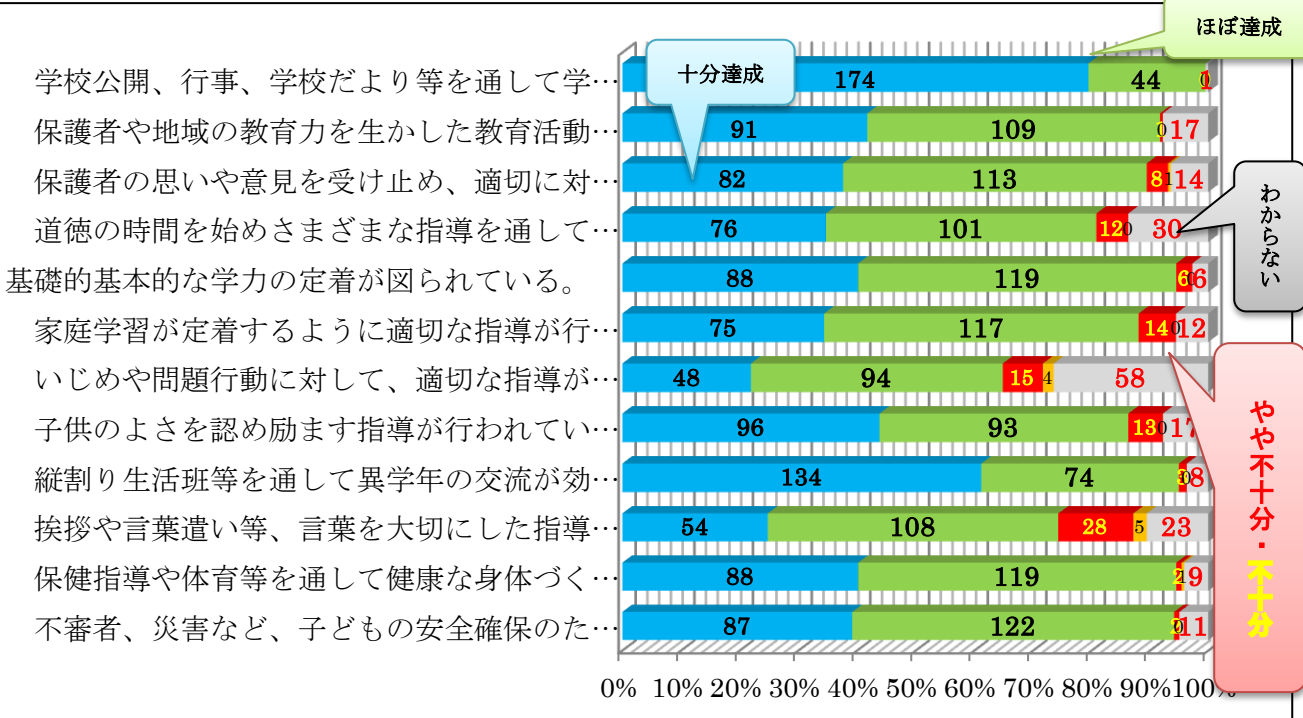
	具体化の重点具体目標 (評価の観点)	評 定 (3年間の比較)	成果・課題等
考 え る 子	1. 人の話をよく聞き、自分の考えを発表できる子になったか	<b>2. 8</b> 2. 4 2. 6	○小集団での発表・発言力は向上している。 ◎朝会時の6年生のスピーチは素晴らしい(内容、マイク無し)。全校での聞く態度も良くなってきている。継続指導。 ○発表する・聞くことの個人差への対応が今後必要。 ○聞き方、ルール・マナーの育成を継続指導する。
	2. 基礎基本の学力が定着している子になったか	<b>2. 5</b> 2. 4 2. 5	○個人差への対応、家庭(学習)との連携、低学年も含め放課後学習の時間を更に工夫していく。 ※週の授業コマ数との関連から再考する。
ね ば り 強 い 子	3. 体力のある子になったか	<b>2. 7</b> 2. 6 2. 4	○「姿勢」は改善方向にある。→ 足の置き場への指導。 ○外遊びの量は増えた。遊ぶ内容の幅を更に広げる。 ▲体力テスト 意志・意欲に関わる内容が課題。 集計結果は、やや下降気味。
	4. 集中力があり最後までやりぬく子になったか	<b>2. 7</b> 2. 7 2. 3	○高まりはあるものの、個人差がある。 ○個に応じた課題・支援や授業展開、家庭との連携が必要。
心 ゆ た か な 子	5. みんなと仲よく協力する子になったか	<b>3. 2</b> 2. 8 2. 9	○行事等での縦割り班活動を充実させることができた。 ○縦割りでの挨拶運動を継続していく。 ○縦割り清掃等、更に「協力して活動する」ことを改善する。 ▲低学年の上学年に対する言葉遣いを指導していく。
	6. 挨拶ができルールを守る子になったか	<b>2. 6</b> 2. 1 2. 3	○登校時の教員による「出迎え」が効果的。一定の効果は見えている。二極化傾向も見られる。 ○挨拶運動等の効果は、一定期間のものになっている。 ○地域・家庭との連携・協力が必要。

(2) 経営方針の具現化から考える (教職員評価結果と保護者評価結果の両面から集計)

※ 赤字が本年度 4点満点

	具体目標(評価の観点) ●学校の評価 ☆保護者の評価	評 定 数年間の比較	成果・課題等
地域を大切に 開かれた外 学に校	1 ●学校公開やホームページ等を通して学校の様子を伝えられたか	3.5 3.4 3.4	○ホームページ、学級だより等の充実を継続・実施していく。さらに見やすい紙面構成にも配慮していく。
	☆学校公開等を通して学校の様子が伝えられている	3.8 3.7 3.7	
	2 ●地域の人材活用、地域の教材化、地域行事への参加等はできたか	3.3 3.0 3.2	○日本文化、読み聞かせ、昔遊び等、地域の協力を頂き、それを広報する。(継続) ○多面的にボランティアの募集、幼保園との連携も更に充実させていく。 ○全学年が地域と関わる授業を展開する。 ※「わからない」7% ↓3%減少
	☆保護者や地域の教育力を生かした教育活動が行われているか	3.4 3.4 3.3	
	3 ●保護者会等を通して保護者の意識を受け止めたか●家庭や関係機関との連携はとれていたか	3.1 3.2 2.9	○個人面談の充実、全体会との日程の調整を行う。(継続) ○対応している内容を保護者に説明する。個別対応を丁寧に行う。 ※「わからない」6%、↑1%、増加
	☆保護者会等を通し保護者の意見を受け止め適切に対応しているか	3.4 3.3 3.2	
し教内職に 関が互 れたを 信校頼	4 ●教育目標を共有化し、組織を生かした活動ができたか	2.9 3.0 2.9	○特別支援教室、支援員、栄養士、民間委託業者(給食、主事)連携を更に密にしていく。 ○外部・地域、保護者との情報連携を確実に。地域コーディネーターの実績を生かしていく。
	5 ●合同授業、TT指導、専科教諭との協力はできたか	3.4 3.3 3.1	
	6 ●他の職種との相互尊重と連携は図られたか	3.0 2.8 2.8	
学ぶ素晴 らしさを 実感でき る学校	7 ●1単位時間の工夫を行い、自ら考え学び合うことができたか。	2.9 2.8	○習熟度別の対応、ベーシックドリル等の対応のシステムの継続。 ○今後も道徳の指導について更に研修を深める。(評価のあり方、教材について) ○道徳の取組状況の広報(重点継続) ※「わからない」13%、↑2%増加
	☆道徳の時間等を通して心の教育が十分に行われているか	3.3 3.2 3.3	
	8 ●教師としての力量の向上は図れたか	2.7 2.9 2.8	
	9 ●教科の基礎基本の確実な定着を図ることができたか	3.0 2.9 2.8	
	☆基礎的・基本的な学力の向上が図られているか	3.4 3.3 3.3	
☆家庭学習が定着するように適切な指導が行われているか	3.3 3.2 3.2	※「わからない」5% ↓2%減少	
●問題解決学習、体験学習等を意識して学習を行っているか	3.0 3.2 2.9	○様々な教科・領域で、問題解決学習をする場面を多く設定していく。	
自由と規 律のある 学校	10 ●いじめ、問題行動等を予防できたか	3.1 2.9 2.8	○日常の様子を細やかに見取ること、児童との面談等を増やして児童理解に努める。 ○未然防止・即解決の方針で取り組む。 ○家庭・職員間の情報共有・協働対応の継続。 ※「わからない」27% ↑3%増加
	☆いじめや問題行動に対して適切な指導が行われているか	3.2 3.2 3.1	
	11 ●児童のよさを認め励ます指導の実践はできたか	3.1 3.3 3.3	
	☆子供のよさを認め励ます指導が十分に行われているか	3.4 3.4 3.4	
12 ●教師の指示の通る学級づくりは	3.0	○学級ルール確立、児童理解を深めること、教師	

	きたか	3.1 2.8	の指示の仕方(技術)の更なる向上。特に、教員間で指導観を統一していく。
13	●自浄作用のある学級集団づくりはできたか	2.9 2.7 2.6	○教師の適切な指導のもと継続課題。
14	●縦割り生活班を中心とした異学年の交流は実践できたか	3.1 3.2 3.2	○定着した。 ▲中学年がリーダーとなる場面の設定。 ○「日常の」縦割班活動を充実させる。
	☆縦割り生活班等を通して、異学年の交流が行われているか	3.6 3.6 3.7	※わからない4%、↑3%増加
15	●日本の伝統文化に親しむ活動ができたか	3.0 2.6 2.7	○講師の先生方の支援を今後も願う。(継続) ○和楽器演奏会・昔遊びの計画的な実施。
16	●言葉を大切にした指導はできたか	2.9 3.1 2.9	<継続課題> ○具体的な行動様式を明示する。 ○日常の言語環境を整える。児童間での言葉遣いへの意識付け、家庭との連携を徹底する。
	☆挨拶や言葉遣い等、言葉を大切にした教育が行われているか	3.1 3.1 3.1	※「わからない」11%、↑3%
17	●15分間の朝学習は確実にできたか	2.7 2.8 3.0	○指導計画にそった指導を今後も全校的に取り組む。
18	●健康な身体づくりはできたか	3.0 2.9 2.7	○保護者への健康な身体づくりの重要性を啓発する。(継続) ○体育授業、豊玉独自の運動の工夫を行う。 ○遊びの質・量を更に向上させる。
	☆健康な身体づくりに取り組んでいるか	3.4 3.4 3.4	※わからない4%、↑1%
19	●地域とのかかわりはできたか	3.0 3.1 2.7	○今後も積極的に地域行事に参加させたり、地域人材を活用したりする。
20	●授業改善をめざした研究授業はできたか	3.1 2.9 2.7	○外部の研究も取り入れて授業の質を向上させる。新学習指導要領の内容を理解し、実践する。 ※次年度継続
21	●豊玉スタンダードは定着したか	2.8 2.6 2.9	○全教員で徹底して取り組まないと効果が期待できない。やや向上。 ○保護者への啓発も図る。
22	☆子供の安全確保のための対策がとられているか	3.4 3.5 3.4	○安全教育の推進(継続) ○施設・設備の点検・改善(継続) ○不要物品の廃棄(継続) ※わからない5%、↑2%増加



保護者アンケートの一覧表(数字は人数)

### 3 児童の評価

(Aとても思う Bだいたい思う Cあまり思わない D思わない)

学校生活アンケートの結果 数字は% 3年間の傾向

1. 学校に来ることが楽しいですか。

A	B	C	D
51	40	7	2
55	38	3	4
54	38	5	3

2. めあてや目標をもって、学習したり生活したりしていますか。

A	B	C	D
34	59	5	2
30	62	6	2
36	53	9	2

徐々に改善傾向

3. 進んで読書をしていますか。

A	B	C	D
46	34	12	8
44	36	12	7
41	37	15	7

継続課題

4. 進んで学習に取り組んでいますか。

A	B	C	D
47	49	3	1
48	44	7	3
47	47	6	1

5. 勉強が分からないとき先生に質問したりや友達に聞いたりしているか。

A	B	C	D
50	38	6	6
45	41	7	7
47	40	9	5

改善傾向

6. 悩みや困っていることを先生などに相談していますか。

A	B	C	D
41	37	9	13
29	45	10	17
27	44	12	17

改善傾向

7. 進んで運動したり外で遊んだりしていますか。

A	B	C	D
64	28	5	3
63	26	8	3
63	28	7	2

8. 進んであいさつをし、正しいことばづかいをしていますか。

A	B	C	D
42	50	7	1
35	55	8	1
42	48	9	1

改善傾向

9. 友達のことを思いやり、進んで親切にしていますか。

A	B	C	D
52	43	4	1
54	43	3	1
50	44	5	1
51	46	2	1

10. 縦割り班での遊びや活動に協力し、楽しくできていますか。

A	B	C	D
65	31	3	1
65	30	3	2
69	26	2	3

11. 学校のきまりを守り、安全に気を付けて行動していますか。

A	B	C	D
50	44	5	1
51	43	5	1
59	36	4	1

12. 友達と協力し合って楽しい学級をつくらうとしていますか。

A	B	C	D
56	39	3	2
58	36	3	3
56	39	4	1

#### 4 学校関係者評価（地域教育懇談会）

平成31年2月9日、地域・学校評議員、保護者の代表を招き、「第2回 学校関係者評価・地域教育懇談会」を行い、平成30年度の学校評価と次年度の教育計画についての報告と協議・意見交換を行った。

始めに校長から、各データ説明とそれに基づいた来年度の方針等を説明した。

##### <主な意見・指摘>

##### ① 各行事の取組から

- 内容や方法を工夫して行われている。展覧会でも（体育館を使用することは2回目）、全面を使い、良い作品、発想豊かな作品が展示されている。見応えがある。色々な素材を使って制作しているところが素晴らしい。先生方に柔軟性があり、指導が行き届いている。

##### ② 挨拶、学習態度・生活習慣等について

- 落ち着いた雰囲気の中で授業が行われている。
- 掲示物から、テーマの難しい内容にも取り組み、その課題に確実に対応しているのがわかる。
- 挨拶
  - ・登校の様子からも、挨拶はできているように見える。生活の中で会う子供と出会う場面が限られていて、「挨拶ができていない」とするのは、全体像ではないのではないか。
  - ・中学生が挨拶運動に協力することを楽しみにしている。挨拶については、積み重ねて指導していく必要がある。

##### ③ 体力について

これまで4年間、都平均を上回る種目数が増加してきたが、今回は減少した。良く遊んでいるし、運動もしている。やる気、本気度が低下していないか。

##### ④ 広報について

ホームページは、在籍保護者でなくても、学校の様子が分かる。更に充実させて欲しい。

##### ⑤ 道徳について

ディスカッションすることで深まりが出る。正解を求めるのではなく、話し合うことが大切である。自分の身に起こっていないことに善悪は付けられないだろう

#### 5 評価結果の公表等

- (1) 前年度の学校評価をもとに作成した学校経営方針を学校説明会（全保護者対象、4月）に開催して、保護者・地域に公表する。
- (2) 学校ホームページへの掲載、新年度保護者会等の資料として公表・活用する。
- (3) 学校公開、学校行事でのアンケートについては、随時「学校だより」や学校評価結果として公表していく。

#### 6 次年度の学校改善に向けた校長の見解

##### (1) 広報について

見やすい学校だよりを作成する。今後もホームページ、学校だより等で学校からの情報発信していく。保護者等の声を公開していく。

##### (2) 挨拶について

中学校と連携した挨拶運動、縦割り・児童会活動で行う1年生からの挨拶運動を継続していく。また本年度より試行した「登校時の教員による出迎え・挨拶」を継続する。

### (3) 学力向上について

個人差や基礎基本を更に定着させるための指導に取り組む。保護者の了解を得て、取り出し指導、放課後の学習も曜日を指定しないで実施できるようにしていく。(週時程の見直し)

### (4) 体力向上について

子供たちが意欲的に運動に取り組むために、「場」と「時間」、「用具」の充実、環境整備・体育的活動の時間を含めた指導内容の改善・工夫に今後も取り組んでいく。オリンピック・パラリンピック教育、健康課題について保護者と連携して取り組んでいく。

### (5) 保護者・児童との面談について

- ① 保護者面談、児童との個人面談を重視していく。学年によって全体保護者会の開催時期を考慮して、保護者が学校に来やすい日程とすることを継続していく。
- ② 「PTA学級活動」と「授業」が協働した取組を行う。

### (6) 縦割り活動について

体制・内容ともに定着した。今後は中年生がリーダーとなる場面も設定し、縦割り活動を充実させていく。

### (7) 読書活動推進について

例年以上の工夫を行ったが、児童への意識の高まりには至っていない。今後も、児童へのPRを充実させていく。(新たな取組の検討)

### (8) 諸行事について

- ① 「楽しい行事」を企画することが近年の特色となりつつある。これまでの取組や考え方・経験を生かして、今後も児童の発達段階に合わせ、楽しめる行事にするために教職員で工夫・アイデアを出し、諸行事を構成する。
- ② 音楽クラブ等、特設クラブの在り方について再考する。

### (9) 道徳授業について

今後も道徳の授業の内容についてPRするとともに、学校公開で行う時間を増やす。また、親子で学ぶ道徳授業も企画・実施していく。

### (10) 次期学習指導要領について

新学習指導要領の対応として、教員が研修の在り方の第二段階とする。

- ① 英語に関しては小中連携のなかで行う。
- ② 教育課程の編成能力を高める。
- ③ プログラミング学習の内容を理解する。
- ④ 新たな評価の考え方を取り入れる。
- ⑤ 週時程の見直しを行い、完全実施のために段階的な対応を行う。

### (11) 地域との連携について

地域の教育力・人材を更に活用するとともに、幼保中との取組を継続・発展させる。

<例>避難訓練、保護者参観、保護者研修会等の実施

### (12) 働き方改革の視点から

職務の効率化、教職員の健康管理を踏まえ、時程や行事、長期休業中勤務等の在り方を更に検討する。(30年度は長期休業中に4日の「学校休業日」を設定した)

- ① 夏期休業中の体育館空調工事との調整
- ② 主事の民間委託との調整
- ③ 教員の「日直」の職務の在り方の検討
- ④ 教員の在勤時間の意識改革と管理体制の検討